

# 扶桑町下水道事業経営戦略【概要版】

## 令和3年度～令和12年度

### 1.はじめに

#### ● 経営戦略策定の趣旨

本町の公共下水道事業は、平成9年度に事業計画に着手し、平成19年度より供用開始を行っております。本町の下水道普及率は、全体計画区域673haに対して、248ha(令和元年度末)の整備状況であり、これからさらに下水道の整備を進めていく必要があります。一方で、人口減少や節水意識の向上で汚水量の伸びが鈍化することも予測されることから、これまでの整備により増大した資産をいかに維持し、持続可能な事業であり続けるかが重要な課題です。

このような状況の中、「第5次扶桑町総合計画」(平成30年3月策定)を踏まえ、快適な生活環境を保持するとともに、収支バランスのとれた健全な下水道経営を持続するために、「扶桑町下水道事業経営戦略」を策定しました。

本経営戦略は、経営状況等の現状や将来予測を踏まえた上で、施設に関する投資とその財源を試算の上で、収入と支出を均衡させた投資・財政計画を策定し、安定的に下水道事業を継続するための中長期的な経営の基本計画です。

#### ● 計画期間

令和3年度～令和12年度(10年間)

### 2.事業の概要

本町の下水道事業は、「五条川右岸流域関連扶桑町公共下水道事業」です。平成10年3月に、事業計画の認可を取得し、平成19年度より供用を開始しております。

令和元年度末時点におきまして、整備面積248ha、計画区域内人口は15,580人、下水道普及率が44.7%であり、さらに下水道整備を推進していく必要があります。

本町の下水道事業は、流域関連であることから、町が管理する下水処理場や汚水ポンプ場はございません。

#### ● 人口の動向

本町では、「扶桑町人口ビジョン まち・ひと・しごと創生総合戦略」(平成28年3月)を策定し、将来人口の予測を行っております。平成27年頃をピークとし、人口が減少する予測となっておりますが、本町では出生率を高めることや転入による社会増をもたらす施策を行い、人口の減少傾向を最大限に抑える施策を進める必要があります。

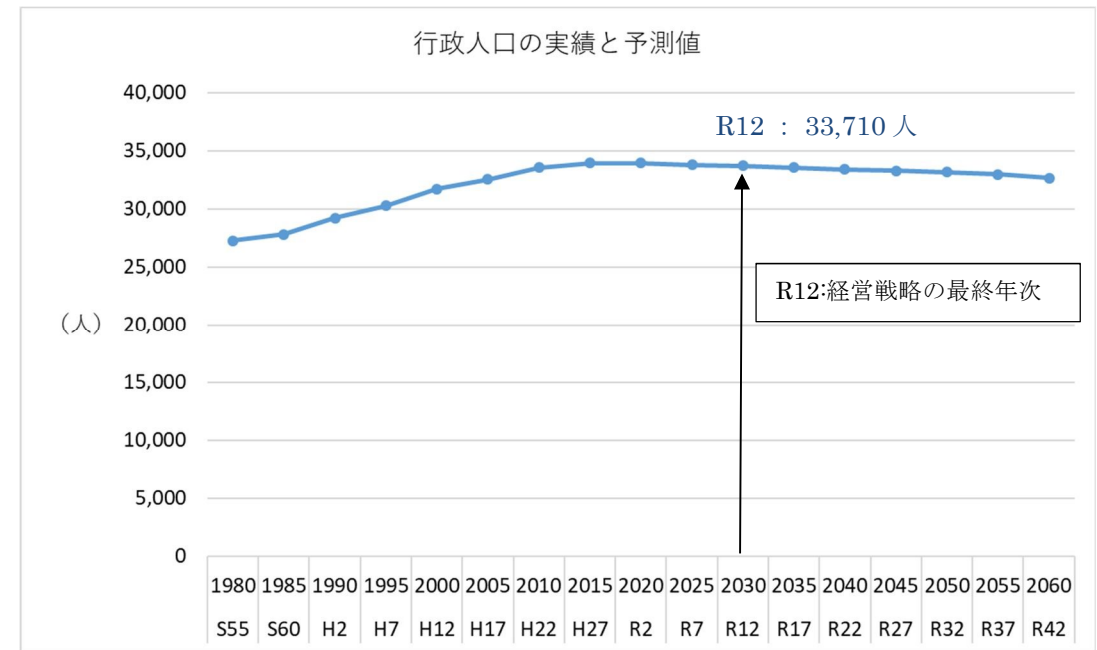


図-1 扶桑町行政人口の現況と将来予測値のグラフ

「扶桑町人口ビジョン まち・ひと・しごと創生総合戦略」(平成28年3月策定)

#### ● 有収水量および下水道使用料金

有収水量は、下水道の整備に伴い増えております。下水道使用料金も水洗化人口の増加に伴い、増えております。

表-1 有収水量と使用料金・水洗化人口の実績

項目	番号	単位	H22度 2010度	H23度 2011度	H24度 2012度	H25度 2013度	H26度 2014度	H27度 2015度	H28度 2016度	H29度 2017度	H30度 2018度	R1度 2019度
有収水量	①	m <sup>3</sup> /年	514,055	583,130	652,522	691,524	735,196	781,751	835,229	874,258	924,193	976,843
不明水量	②	m <sup>3</sup> /年	20,911	18,408	19,941	28,725	30,903	59,897	48,280	57,020	52,433	31,035
不明水量率	③=②/①	%	4.1	3.2	3.1	4.2	4.2	7.7	5.8	6.5	5.7	3.2
総水量	④=①+②	m <sup>3</sup> /年	534,966	601,538	672,463	720,249	766,099	841,648	883,509	931,278	976,626	1,007,878
使用料(調停額)	⑤	円/年	55,052,985	62,104,215	69,283,530	73,222,390	79,360,018	85,526,273	90,789,035	95,095,825	101,744,195	107,675,848
水洗化人口	⑥		5,577	6,309	6,798	7,135	7,768	8,386	8,850	9,199	9,848	10,494

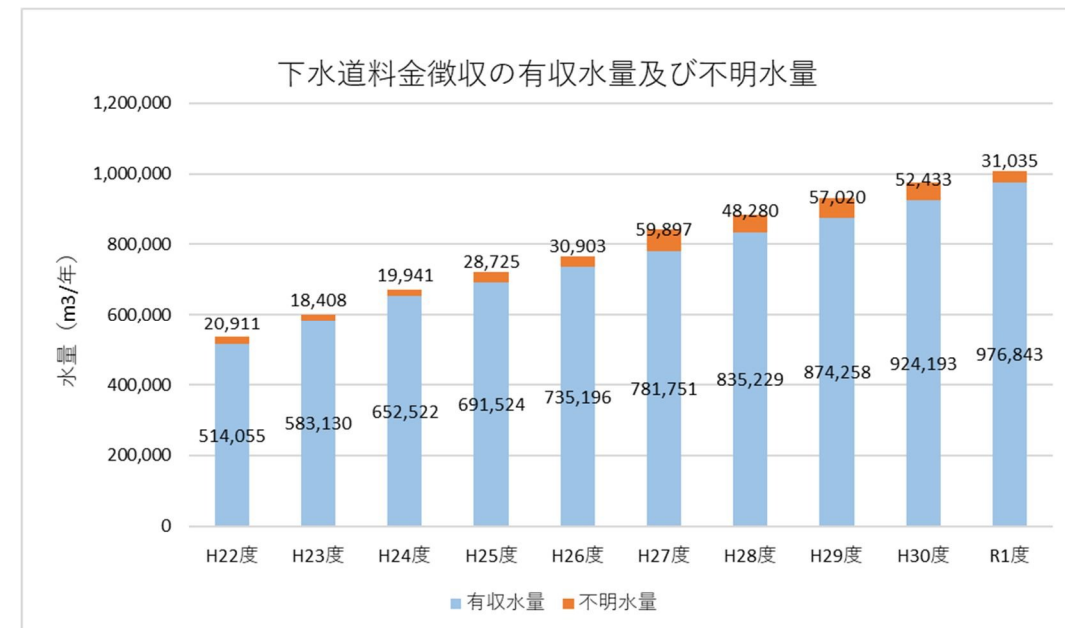


図-2 有収水量と不明水量の実績グラフ

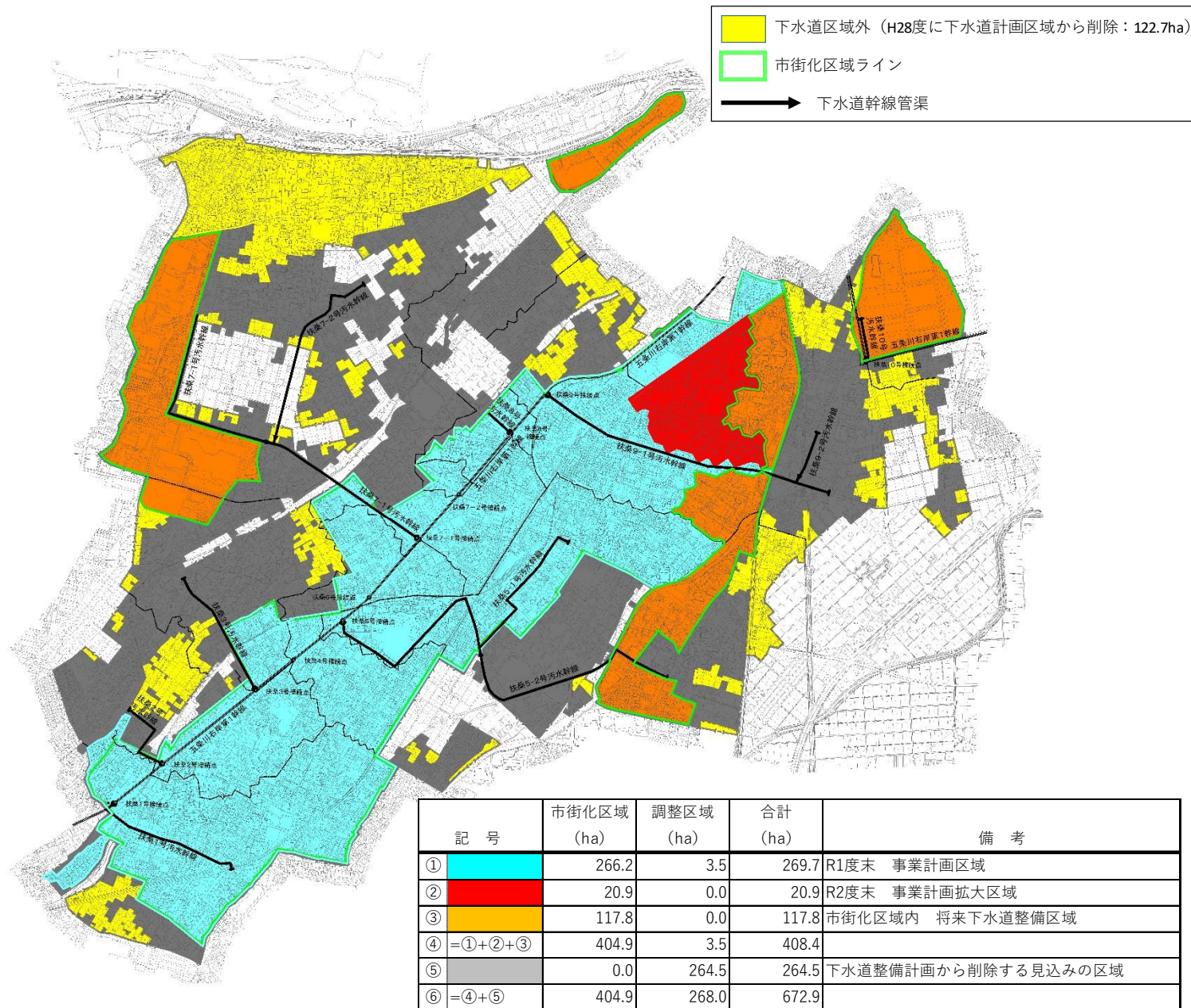


### 3. 将来の事業環境

#### ● 下水道整備区域の概要と整備完了時期の試算

令和元年度末の下水道整備面積は248haです。全体計画区域672.9ha(市街化区域404.9ha、市街化調整区域268.0ha)の整備完了予定は、概ね令和84年度(82年後)と試算されました。

また、市街化区域404.9haのみの整備完了予定は、概ね令和35年度(33年後)と試算されました。

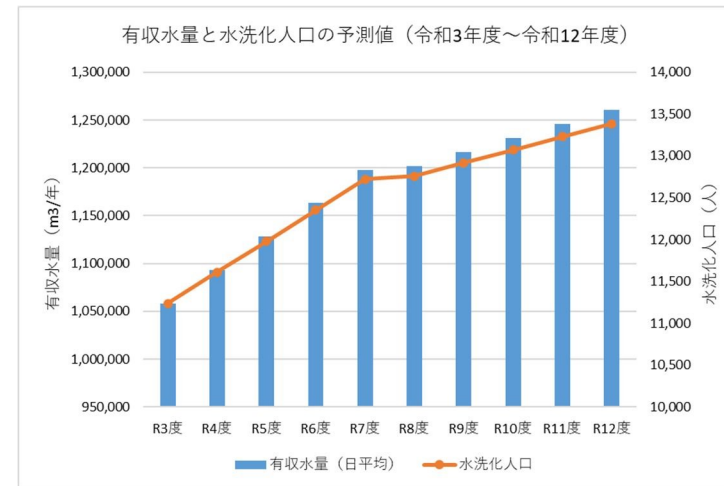


● ④市街化区域の整備完了 → 令和35年度頃(33年後)と試算

● ⑥令和2年度時点 全体計画区域の整備完了 → 令和84年度頃(82年後)と試算

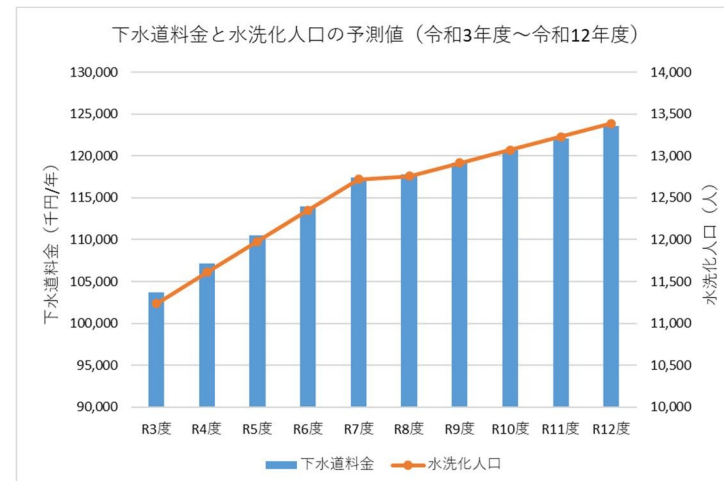
今後、公共下水道の整備に、期間と事業費を要することから、下水道整備区域は市街化区域のみ(上記④の区域408.4ha)に縮小していく方向で考えております。

#### ● 処理区域内人口(水洗化人口)と有収水量



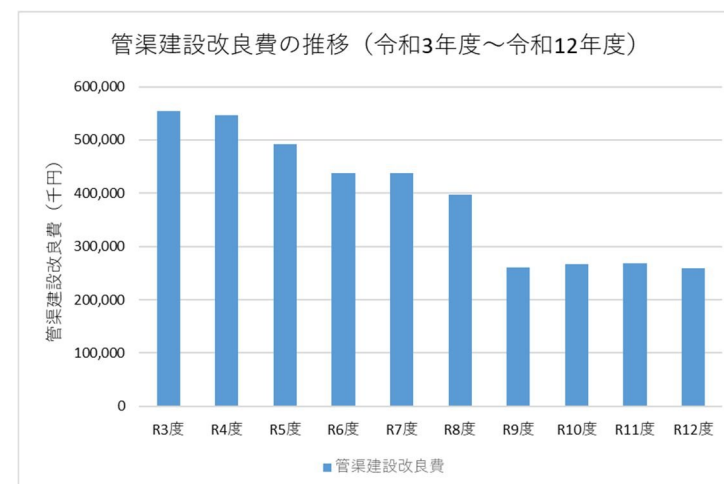
令和3年度から令和7年度までは、積極的に下水道管渠の整備を進めていくため、水洗化人口と有収水量は順調な伸びが予測されました。令和9年度以降は、国庫補助金がなくなる見込みから、下水道管渠の整備量が減少となり、有収水量の伸びも減少する予測となりました。

#### ● 下水道料金収入



下水道の整備が増えるため、令和7年度までは順調に下水道料金収入が増加すると予測されました。令和9年度以降は、管渠の整備量が減ることから、水洗化人口、下水道料金収入ともに伸びは減少する予測となりました。

#### ● 管渠建設改良費



令和5年度までは、概ね5億円～6億円の建設改良費にて管渠整備等を進めていきます。

ただし、令和9年度以降は、国庫補助金がなくなる見込みであり、1年あたりの管渠建設改良費は概ね3億円弱まで減少する予測となりました。



## 4.経営の基本方針

本経営戦略で推進する基本方針は、第5次扶桑町総合計画を踏まえて、快適な生活環境を保持するために、下水道の健全な経営に努めていきます。

### ● 公共下水道事業の健全な経営

公共下水道事業経営の安定化に向けて、下水道料金の滞納者に対して早期の督促を行い、受益者負担金や下水道料金の収納率の向上を目指します。また、下水道施設の経年劣化に伴う補修・更新工事及び将来の人口減少を考慮した適正な下水道使用料の見直し検討を行います。

### ● 公共下水道の管渠整備

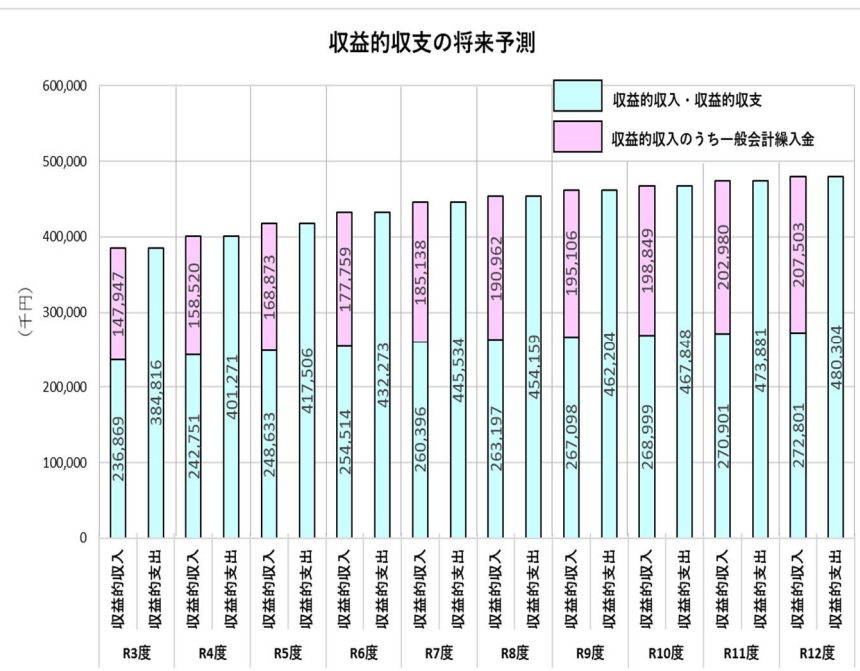
汚水処理区域の早期概成を目指し、効率的な下水道整備を行うために汚水整備区域の見直しを行います。

### ● 住民サービスの向上

地区説明会の開催や、広報紙やホームページなどを通じた啓発活動を行い、公共下水道事業に対する町民の意識高揚を図ります。

## 5.投資・財政計画（収支計画）

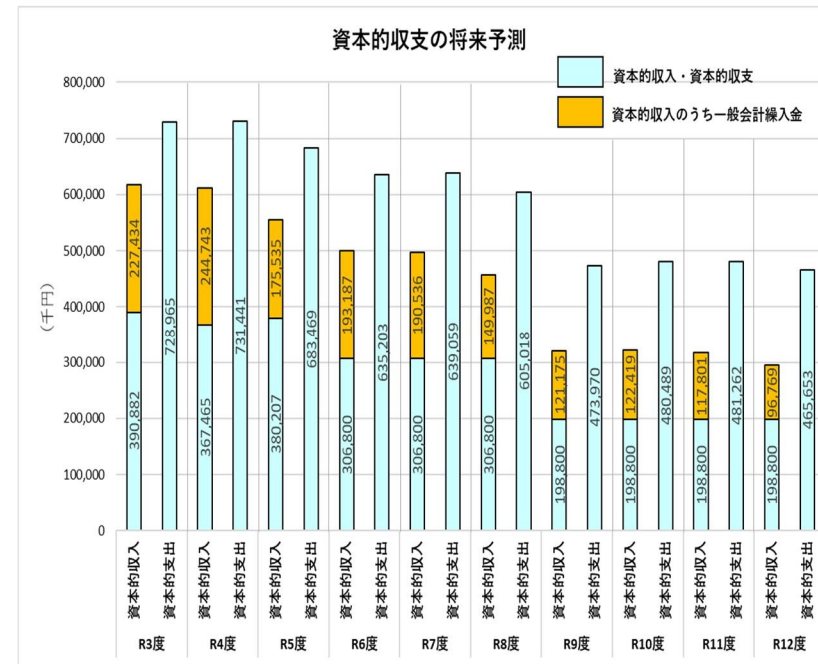
### ● 収益的収支の将来予測



下水道料金は、現行の料金制度を継続するものとします。

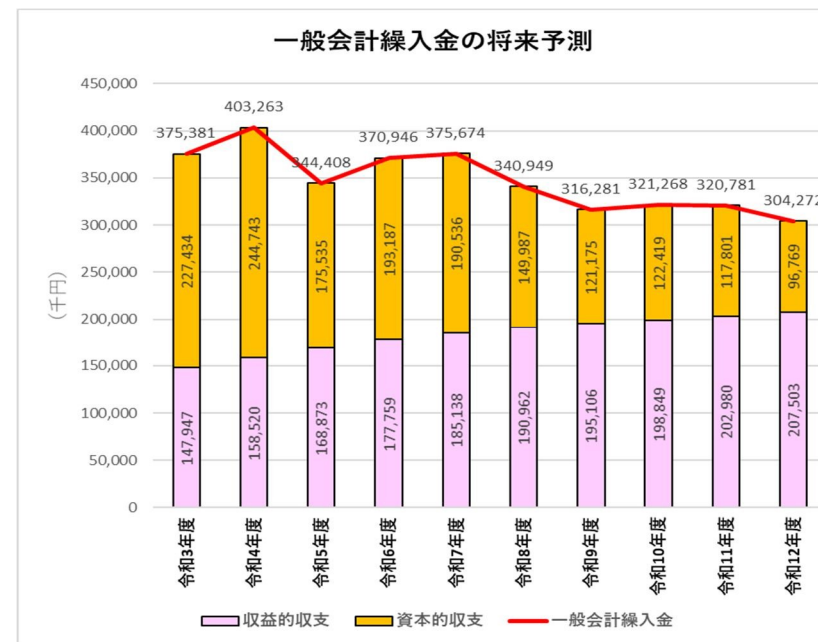
収益的収支は、下水道料金の増加が期待できることから、概ね4億円弱から5億円弱で推移すると予測されます。

### ● 資本的収支の将来予測



資本的収支は、建設改良費や企業債償還金が継続的に必要であり、資本的収入以上に資本的支出が発生します。

### ● 一般会計繰入金の将来予測



一般会計繰入金は、概ね4億円から3億円程度で推移します。

## 6.経営戦略の事後検証・改定等に関する事項

健全な事業経営が持続できるよう、掲げた取組を着実に遂行するとともに、定期的に投資・財政計画を検討していきます。このため、PDCAサイクルを活用した進捗状況の管理を行い、目標の達成状況や経営戦略の見直しについても公表していきます。